

SPARView Vol 16, No. 28 –July 12, 2018

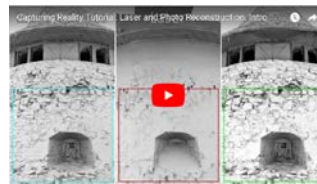
RealityCapture:驚異のスピードのフォトグラメトリソフト

[RealityCapture](#) 社は、採取と処理を一体化した特殊なアルゴリズムにより、驚異のスピードを実現した。

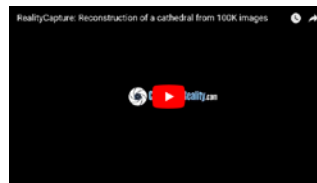
・フォトとスキャン同時処理 (Processing photos and scans)

レーザスキャン、カメラ画像、ドローン採取、ステレオカメラなどのさまざまな手法に単一手順で、マルチコアプロセッサで同時処理できる。

<https://youtu.be/1-4RsCIuKCw> 1min



<https://youtu.be/b6E7F3SIbys> 53sec



<https://youtu.be/IpYxPk-pVUw> 40sec



<https://youtu.be/OLvRiVnzoyI> 16sec



<https://youtu.be/3yuDOXdoSg8>

22sec

<原文> [RealityCapture: Photogrammetry software built for speed \(and laser scans\)](#)

Orbit GT : フリーSDK/API 発表

3Dマッピングの大手 Orbit GT は、ソフトウェア開発キット (SDK) およびアプリケーションインターフェース (API) を発表した。

<原文> [Orbit GT releases free SDK/API](#)



Mantis Vision:スマホ Xiaomi に 3D センサー

低価格の中国製スマホで、構造化光を用いて 3D 情報を取得し、ホログラフィック機能を実現。

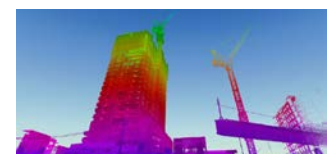
<原文> [Mantis Vision sensors to go in Xiaomi smartphones](#)



OGC : 3D 点群自動処理支援求む

地理情報推進団体 Open Geospatial Consortium (OGC)は、国家標準局 NIST の要請を受けて、Indoor Mapping and Navigation Pilot Initiative (IMNPI?)の開発への協力者を募集する。 [CFP, click here](#)

<原文> [OGC wants to turn point clouds into turn-by-turn directions](#)



COMMERCIAL UAV NEWS

建設へのドローン適用ロードマップ

着目されているとはいえ、実際の建設現場で適切に使われているとは言いがたい。“shiny object syndrome” 「光り輝くもの」十分理解もせず新しいものに飛びついて、うまくいかずに幻滅する現象。

上手に使える、プロジェクトの各段階における意思決定に大きな効果を引き出せる。 [improving decision-making](#), or [creating operational efficiencies](#)



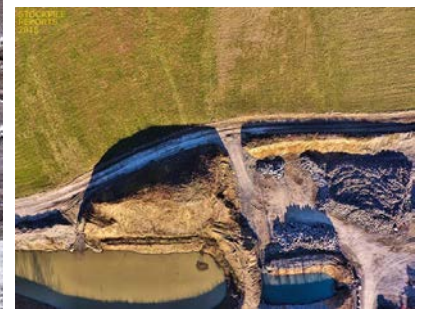
<原文> [Utilizing a Technology Roadmap to Create Value for Drones in Construction](#)

建設へのドローン適用の視点を変えてみよう

建設現場では、まだまだ無駄が多く、工期遅延、予算大幅オーバーが常態化している。 [McKinsey & Company determining](#)

新しい技術の現場への適用には、相当な覚悟が必要である。ツールさえ導入すれば、勝手に機能してくれるわけではない。

[adoption and integration of new technologies.](#)

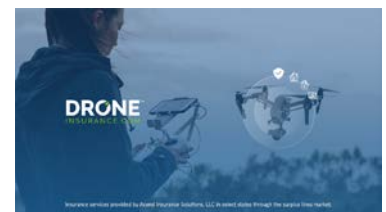


<原文> [Thinking Differently About Technology in Construction](#)

商用ドローン保険の再考

ドローンの使われ方の広がりとともに、リスクの存在も変わってきている。ドローン保険制度も、こうした変化に対応していかなければならない。

[DroneInsurance.com](#) 社は新しい制度を設計・開発している。

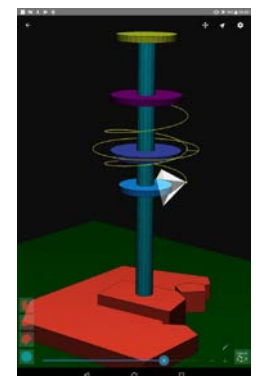


<原文> [DroneInsurance.com Set to Redefine Expectations Around Insurance for Commercial Drone Operators](#)

Drone Harmony : 通信塔の検査をドローンで革新

これまで人手で行われてきたが、危険を伴う作業であった。 Drone Harmony 社は、ドローンを使ったシステム化、自動化に取り組み、コストを半分に、かつ安全に実施できるようになった。

<原文> [Cell Tower Scan from Drone Harmony Transforms Expectations for Cell Tower Inspections](#)





[AIA Conference on Architecture 2018](#),において、InsiteVR 社が [Immersive Project Showcases](#),を紹介

<原文> [The New Interface for Revu from Bluebeam – AEC Next 2018](#)

フォード:ドローン免許証

フォードは移動体の企業として、ドローン技術にも強い関心を抱いている。責任者の一人 [Adi Singh](#) 氏にヒアリングした。

都市空間での利用は、現在ではまだレベル2の段階で、次に目指すのはレベル3であるのだが、究極のレベル10の研究開発に着手している。



<原文> [License Plates for Drones and Urban Air Mobility for Ford](#)

Skylogic : 商用ドローンの認知度を高める

世界のドローンマーケットの動向について、調査会社 [Skylogic Research, LLC](#) から [the third annual Drone Market Sector Research study](#) が発行された。[DJI](#), [DroneDeploy](#), [DroneInsurance.com](#), and [Trimble](#) の協力を得て調査したものである。



<原文> [Skylogic Research Fills a Gap in Knowledge and Understanding of the Commercial Drone Industry](#)



米国ドローン規則:ホビイストから訴え

[US Drone Rules Withstand Hobbyist's Legal Challenge](#)

安全に対する厳しすぎる規則に対し、ドローン愛好家団体が、裁判所に申し立てを行っている。



ヨーロッパ RPAS 2018 大会

[RPAS 2018 Conference Proceedings & Photos](#)

- [Conference programme](#)
- [Photographic Review](#)
- [Online Proceedings Order Form](#)



JAR Aerospace : Cisco's Start Challenge に勝利

[JAR Aerospace Wins Cisco's Start Challenge](#)

[JAR Aerospace](#) 社は、2017 年に創立したオーストラリアのスタートアップ。



SkyGuardian: 大西洋横断

[SkyGuardian Takes Off on Trans-Atlantic Flight](#)

General Atomics Aeronautical Systems, Inc.
(GA-ASD)社製の、中高度・長距離無人機
Medium-altitude, Long-endurance (MALE)
MQ-9BSkyGuardian



Dejero と Draganfly 連携し

高品質リアルタイムビデオ伝送

[Dejero and Draganfly Partner to Provide High Quality Real-Time Video Transport](#)

[Dejero](#)社とカナダの [Draganfly Innovations Inc.](#)社が連携



ブルガリア初の貨物ドローン

[New Cargo Drone from Bulgaria](#)

<https://youtu.be/oJgozFsYU7M> 52sec 300kg



第4回ドローン女性ネットワーク

[Fourth Annual Women in Drones Networking Event](#)

[Women in Drones Luncheon](#) 今年は9月6日 12:15 pm – 1:30 pm に開催される。

幹事: API (American Petroleum Institute)の Suzanne Lemieux 氏



Equinor: メタン検知 SeekOps に投資

[Equinor Invests in Methane Detection Start-up SeekOps](#)

ドローンによるメタンガス検知のスタートアップ [SeekOps Inc.](#)社に出資する。



米メキシコ国境にドローン多数

[Drone Activity Soaring at US-Mexico Border](#)

トランプの強硬政策により、メキシコとの国境警備は厳重になっている。しかしドローンを使った密輸、それを取り締まるドローン、およびマスコミ関係の取材含めて国境近辺でのドローン往来が激しくなっている。



ロシアの攻撃ドローン テストフライト

[Russia's Attack Drone Prototype to Start Test Flights](#)

重量級の攻撃ドローンのプロトタイプ [Okhotnik \(Hunter\) developed by the Sukhoi Aircraft](#) がテストにはいった。



米軍の未来の戦略ドローンデモ

[US Army to Host Fly-Off for Future Tactical UAVs](#)

現在の Textron RQ-7 Shadow の代替え機として Future Tactical Unmanned Aerial System (FTUAS)がデモを行った。



英国政府:空の防衛報告書

[UK Government Report Highlights Issues with Defence Aviation Programmes](#)

無人機の購入・配備計画



オランダ防衛 Reapers 契約

[Netherlands to Get Reapers Under Defence Agreement](#)

米軍とオランダ：装備および人的交流を強化

MQ-9 Reaper



Kratos: BQM-177A ターゲットドローンを米海軍へ

[Kratos Rolls Out BQM-177A Target Drones for US Navy](#)

契約額\$34.5 million



GA-ASI :\$40M Reaper 契約獲得

[GA-ASI Gets \\$40M Reaper Contract from US Marines](#)



米海軍は General Atomics Aeronautical Systems Inc. に対して MQ-9 Reaper を \$39.5 million の契約

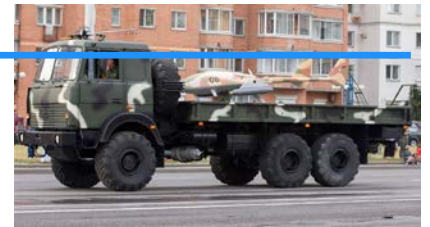
MQ-8C Fire Scout : テスト完了

[MQ-8C Fire Scout Initial Operational Test and Evaluation Complete](#)



AeroVironment: 米軍から 5 年で \$248M 契約

[AeroVironment Gets \\$248M 5-Year US Army Contract](#)



ベラルーシ軍 : 武装ドローン Burevestnik-MB 導入

[Burevestnik-MB Armed Drone for Belarus Army](#)

Leonardo; ドローン対抗 IM-SHORAD 導入

[Leonardo Adds C-UAV MHR to IM-SHORAD](#)



ハッカーが闇のウェブで MQ-9 情報販売

[Hacker Tried to Sell MQ-9 Files on Dark Web](#)

米海軍の機密 MQ-9 Reaper データファイルを闇のネットワークで売ろうとしていた。

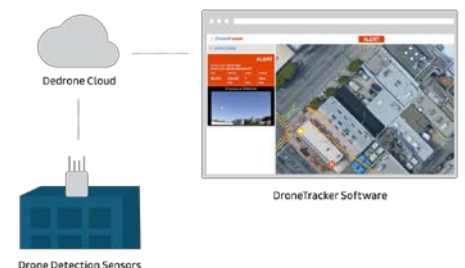
情報ネットワークの脆弱性が指摘されていた。



Dedrone: クラウドの中のドローンを検知

[Dedrone Introduces Drone Detection in the Cloud](#)

Dedrone 社は Dedrone Cloud を発表。空域の安全性を確保するために必要性が増してきている。



AirMap: スイス UTM 会社と提携

[AirMap Partners with Skyguide for Swiss Drone UTM](#)

[AirMap](#)社はスイスのナビプロバイダ Skyguide と提携



FAA : ドローン登録警告

[FAA Says Avoid Drone Registration Schemes](#)

[Federal Aviation Administration](#) (FAA)は、ドローン所有者、とくにホビーユーザーで、登録支援悪徳業者が横行していることに注意を呼び掛けている。[FAA Drone Zone](#)が唯一の登録窓口であり、登録料はたった5ドルである。



ソーラーパワーで10時間連続空撮成功

[Solar-Powered Aircraft Completes 10-Hour Continuous Aerial Surveying](#)
<https://youtu.be/Fm6CrHZkU1I>

2min 10sec

[UAVOS Inc.](#)社は、高品質フォトで日中に長時間連続空撮に成功した。

UAVOS SAT-i UAV 技術は低コストで広範囲のマッピングを行うことができる。

2-4時間であれば、ソーラーパワーなしでバッテリー駆動で可能である。



ホバートレインは、その後どうなったか？

[What Happened to Hovertrains?](#)

<https://youtu.be/qUXEFj0t7Ek> 10min 58sec

1974年にフランス鉄道がスピード記録 250 マイル/hr を達成した。フランス以外でも 米国、イギリスでもいくつかのタイプが開発された。圧縮空気を吹き出し浮かすことで路面との抵抗をなくし、ジェットエンジンもしくはリニアモーターで推進する。フランスでは 80 人乗りの大型車両も作られた。

しかし、レールの敷設などがネックで実用には至らなかった。



< 訳者註 >

“shiny object syndrome” 話題の多い「光り輝くもの」、十分理解もせず新しいものに飛びついて、うまくいかずに幻滅する症状。

< 訳者コメント >

1) RealityCapture: HighSpeedPhoto

驚異のスピード、本当かな？

2) “shiny object syndrome”

話題の新技术に安易に飛びつくのは、止めるべき

3) ホバートレイン：かつて本格的に取り組まれたとは

知りませんでした。

以上 抄訳は河村 koji@sparj.com 2018-07-14